

令和 2 年度

根室市の教育



長靴アイスホッケー体験会

根室市教育委員会



根 室 市 民 憲 章

わたしたちは、太平洋とオホーツク海に望む日本の東、白鳥の群れとぶ美しい自然のなかに生きる根室市民です。

わたしたちは、たくましい開拓精神とゆたかな北方文化をうけつぎ、更に理想の郷土をきずくため、開基１００年に当たりこの憲章を定めてあすへの誓いといたします。

- １ 郷土を愛し、美しいまちをつくります。
- １ 健康で働き、豊かなまちをつくります。
- １ 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
- １ きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- １ 生活を楽しみ、明るいまちをつくります。
- １ 北方領土の復帰をはかり、平和なまちをつくります。

昭和 43 年 8 月 1 日制定

目 次

・教育行政推進の基本姿勢	1
・令和2年度の学力向上に向けた取り組み	9
・根室市小学校・中学校・高等学校・幼稚園一覧	14
・根室市小中学校所在地一覧	18

根室市の教育費

1. 教育費	19
--------	----

学校教育

1. 児童生徒数の推移	21
2. 就学の助成	21
3. 令和元年度 中・高卒業生の進路状況	22
4. 学校保健事業	22
5. 不登校対策	23
6. 学校給食	24

社会教育

1. 生涯学習社会をめざした社会教育計画	25
2. 社会教育・社会体育関係推進内容一覧（概要）	27
○社会教育課	27
○児童会館・放課後教室・児童教室	29
○根室市青少年相談室	31
○根室市別当賀夢原館	32
○根室市歴史と自然の資料館	33
○根室市図書館	35
○根室市総合文化会館・根室市公民館	37
○飯田三郎資料展示室	39
○社会体育課	40
○根室市青少年センター	42
○根室市温水プール	43
○社会体育施設	45
○社会教育・社会体育等関連施設マップ	47

資料編	48
-----	----

教育行政推進の基本姿勢

根室市の教育は、平成27年度に策定した第9期根室市総合計画に基づき、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、活躍し、住み慣れた故郷の豊かさを実感できるまちづくりを目指すとともに、「子どもたちの社会を生き抜く力を育む学校教育」並びに、「市民の学びを高める生涯学習」を一層振興させていくことを基本として、教育行政を推進してまいります。

1. 社会を生きる力の育成

子どもたちがこれからの人生を主体的に切り拓いていくためには、新学習指導要領の趣旨を見据え、学びに向かう力を養い、生きて働く知識・技能の習得や、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成に取り組むとともに、個々の特性や障害にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育を進め、ニーズに応じた個別支援により、学力の向上と今後の共生社会を生きる子どもたちの育成を図っていくことが重要です。

【主な取組】

- 学力向上につきましては、校長・教頭・教諭の代表と教育委員会で組織する学力向上推進プロジェクトチームからの提言や北海道教育委員会の各種取組との連携のもと、学力や学習状況の把握・分析と指導方法の改善を連動させる検証改善サイクルの確立に引き続き取り組み、各学校において、よりスピード感のある授業改善を目指してまいります。
- 全国学力・学習状況調査では当市の児童・生徒のうち相当数が全国の学力下位層の範囲に含まれる結果となっていることから、こうした児童・生徒に対する指導方法を更に充実させ、根室市全体の学力向上につなげてまいります。

- 引き続き学力向上対策の全国的な先進地域に教員を派遣するとともに、当市に教員を招聘し模擬授業を行うことなどを通じ、教員の授業力の向上を図ってまいります。
- 学力向上等補助教員を活用した習熟度別指導・ティーム・ティーチングに加え、新たに放課後教室・児童館等指導員による小学校低学年の授業補助をスタートさせ、更に国や北海道における各種支援事業の教員加配を積極的に活用して、個に応じたきめ細かな学習指導を進めてまいります。
- 新入学児童の小学校生活の円滑なスタートを図るため、接続カリキュラムの充実や「子育てファイル”りんくす・ねむろ”」の効果的な引継ぎなどにより、幼稚園・保育所と小学校との連携を進めてまいります。
- 小学校と中学校についても更なる連携推進に努め、幼・保・小・中それぞれの段階において、「いままで」の学習内容をしっかりと定着させ、「これから」の学習内容を着実に積み上げていくことができるよう、個々の子どもたちが必要とする支援に努めてまいります。
- 通常学級在籍で特別な支援を要する児童・生徒の学習活動を支援し、教員の円滑な授業をサポートするため、特別支援教育支援員や介助業務員の拡充に努めます。
- このような児童のため週に数時間の特別な支援を行う通級指導教室を、現行の花咲小学校に加え、新たに成央小学校に開設し、支援の充実を図ってまいります。
- 児童・生徒が、個々の特性に応じた適切な支援を受けることができるよう、道立特別支援学校分校・分教室の当市への誘致実現に向け、引き続き北海道教育委員会に要望してまいります。

2. 豊かな人間性と健やかな体の育成

子どもたちの健やかな成長のためには、尊重し合い思いやる心、自己肯定感、規範意識を育むとともに、充実した人生を送るための基盤となる健康の保持増進や体力の向上が重要です。

また、将来、郷土根室を支える人材として、郷土を深く理解する教育にも積極的に取り組む必要があります。

【主な取組】

- 新学習指導要領に基づき、「特別の教科 かなめ 道徳」を 要 に学校の教育活動全体を通じて、子どもたちが自己の生き方を見つめ、主体的に考え、行動し、自立した人間として成長していくための基盤となる道徳性を養ってまいります。
- 「根室市いじめ防止基本方針」に基づき、今後とも学校・家庭・地域・関係団体の連携を一層強化しながら、啓発・学習活動に取り組み、望ましい人間関係の醸成と、いじめの未然防止・早期発見・適切な対処に努めてまいります。
- 子どもたちが自らいじめについて考え、行動する力を育むため、全小中学校の代表が参加する「子ども会議」を引き続き開催してまいります。
- 22時に携帯電源を切る「スイッチオフ22」運動や「生活リズムチェックシート」の活用などにより、学校と家庭が連携して基本的な生活習慣の確立を図るとともに、子どもたちがトラブルの被害者や加害者にならないよう、ネット利用に関する家庭のルールづくりを促進してまいります。
- ふるさとを理解し、その発展に貢献する意欲や態度を育成するため、北方領土返還要求運動原点の地として北方領土学習を一層深め、正しい歴史認識と主体的に考える気持ちを育み、未来に向けて考えていく態度を養ってまいります。

- 地域の特色を生かした地域学の実践を進め、郷土根室の歴史や自然、産業などの魅力を理解し、郷土を愛する気持ちを育んでまいります。
- 食育の一環として「ふるさと給食」を引き続き実施し、地域の生產品を通じてふるさとを理解し、その発展に貢献する意欲や態度を育成してまいります。
- 子どもたちの体力向上に向け、運動やスポーツに親しむ機会の創出や環境づくりを図り、楽しさを味わい達成感が得られるよう、引き続き授業改善や「1校1実践」などに学校全体で取り組むとともに、スポーツ少年団・スポーツクラブの育成・支援、指導者養成などに努めてまいります。
- 文化・スポーツにおいて児童・生徒の活躍を支援する「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」を引き続き実施し、各種大会への参加助成や講演・講習、作品展などの開催を通じ、日本や世界で活躍するアスリート・アーティストを目指す子どもたちを育ててまいります。
- 本年度から第2期がスタートする「根室市子ども読書活動推進計画」に基づき、「子どもブックライフ応援事業」に、おなかの中の赤ちゃんに絵本を読んで語り掛ける「マタニティブック事業」を新たに加え、乳幼児や小学校1年生児童に対する「ブックスタート事業」・「セカンドブック事業」と合わせ、学童期まで途切れなく、子どもたちの本との出会いや交流の場を支援してまいります。
- 千島海溝沖巨大地震や津波など自然災害から身を守るために必要な知識や能力等の育成に向けて、市長部局や地域と連携した防災教育の一層の充実を図り、学校の安全確保に努めてまいります。

3. 子どもを育てる環境づくりの充実

児童・生徒数の推移や多様化する教育ニーズ等に対応するためには、適切な教育

環境の整備と教育機能の維持向上を図っていくことが重要であり、また、地域で子どもを育てる取組を充実させ、さまざまな交流を通じ、さまざまな体験を積み重ね、豊かな感性や情操を育成していくことが大切です。

【主な取組】

- 光洋中学校と啓雲中学校の統合や、柏陵中学校の旧根室西高等学校校舎への移転に必要な改修を行い、教育環境の整備を図ってまいります。
- 光洋中学校と啓雲中学校両校の生徒交流等に配慮し、その円滑な統合に向け準備を進めてまいります。
- 統合後の啓雲中学校跡地につきましては、花咲小学校及び花咲放課後教室を移転する準備を進め、老朽施設の解消を図ってまいります。
- 本年度から歯舞小中学校を、小学校から中学校まで9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校「歯舞学園」として新たに開校し必要な改修を行うほか、各学校から多くの要望が寄せられている修繕箇所について解消に努め、教育環境の整備を図ってまいります。
- 今後、保護者や地域全体で子どもたちの成長を支えることができるよう、専門的な知識・経験を有する人材を活用し、学校運営の改善・充実につなげる「コミュニティ・スクール」につつまして、引き続き調査・研究を進め、本格導入に向けたモデル試行の準備に取り組んでまいります。
- このたび全小中学校に整備したWi-Fi環境のもと、教育情報化推進計画や文部科学省のギガスクールネットワーク構想に基づき、児童生徒一人に1台の学習用端末や大型ディスプレイ等の計画的整備に取り組み、プログラミング教育を始め情報教育の推進に努めてまいります。

- 「学校における働き方改革のための業務改善計画」に基づき、教員が自らの専門性や人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、校長会等と連携して、時間外勤務等の縮減に取り組んでまいります。
- 民間活力の導入により教員専用アパートの整備を進め、教員の住宅環境の向上を図ってまいります。
- 学校給食費につきましては、引き続き第3子目以降の無償化と第1子・第2子に対する支援策を実施し、食材費高騰等の影響が保護者負担に生じないように努めてまいります。
- 現在の北斗・成央・光洋の3学校給食共同調理場を集約するセンター化につきましては、引き続き早期の実現に向けた調査研究を進めてまいります。
- 子どもの放課後活動につきましては、国の「新・放課後子ども総合プラン」を基本として本年度からスタートする新たな「根室市放課後子どもプラン」に基づき、すべての子どもたちが多様な体験活動に参加し、安全・安心に放課後を過ごすことができる居場所づくりに努めてまいります。
- 子どもたちが自ら考え行動し、集団活動におけるルールやマナーなど社会性・協調性を育む交流・体験活動を実施し、青少年活動リーダーの発掘・養成に努めるなど、引き続き青少年の健全育成を推進してまいります。
- 学校教育の喫緊の課題について専門的な立場から学校現場との連携・調整を担うため、教育委員会事務局に学校教育指導室を新設し室長・主幹の指導主事2人体制へと拡充し、各種取組の積極的な推進に一層努めてまいります。

4. 生涯学習活動の充実と文化・スポーツの振興

市民一人一人が、心豊かで健康な生活を送るためには、歴史・文化への理解を深

めスポーツに親しみながら、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境づくりが大切です。

【主な取組】

- 公民館活動につきましては、生活・芸術文化・趣味・教養などの市民要望や根室の生活・地域課題に基づきながら各種講座を開催するとともに、幼児期から高齢期にわたる学習機会を提供し、市民の自主的・主体的な参画を進めるなど、生涯学習活動の更なる活性化に努めてまいります。
- 文化の振興につきましては、根室市総合文化会館事業協会と連携した優れた舞台芸術鑑賞機会の提供・充実や、創立60周年を迎える根室市文化協会等との協働による市民の芸術文化活動の支援に今後とも努めるとともに、総合文化会館の施設改修など利用環境の充実を図ってまいります。
- 国が推進するアイヌ施策に沿って、北構保男氏から寄贈いただいた貴重な北方資料の中から、特にアイヌ文化関連資料につきまして、歴史と自然の資料館で展示・公開に取り組んでまいります。
- 国指定天然記念物「カラフトルリシジミ」等が生息する高層湿原について引き続きモニタリング調査を実施し、動植物の生息状況等の実態把握を行ってまいります。
- 文化財を活用した広域的な観光振興を目指す「日本遺産」につきましては、海に臨む管内1市3町で「鮭の聖地」のストーリーにより共同申請書を提出し、本年度6月に認定されたところであり、今後も引き続き文化財の適切な活用にかかる情報発信等に努め、当市の貴重な歴史や自然の普及・活用に取り組んでまいります。

- スポーツの振興につきましては、「市民一人1 スポーツ」を目指し、市民が日常生活の中で生涯にわたってスポーツ活動に親しむことができるよう、スポーツ環境の整備を図るとともに、各種団体との連携・協力の下、指導者育成やスポーツに触れ合う機会の拡充に努めてまいります。
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向け、当市においてもオリンピック聖火リレーが開催されることから、市民の記憶に残り、子どもたちに夢を与えることのできる各種セレモニーを開催してまいります。
- 「最東端ねむろシーサイドマラソン」につきましては、昨年、過去最高のエントリー数となるなど好評を博していることから、本年も市民の健康増進や体力の向上、そして、全国から当市を訪れるランナーとの貴重な交流の機会として、地域振興や北方領土問題啓発にも資する競技大会となるよう努めてまいります。
- 総合体育館の建設に向けましては、市民の意向調査を基にした「整備市民委員会」の協議・検討の結果を踏まえ基本方針を取りまとめ、今後の基本構想の策定を目指してまいります。
- 図書館活動につきましては、市民の読書活動や学習活動を支える拠点施設として、蔵書整備など利用環境の充実を図るとともに、図書館ボランティアを始めとした各協力団体と連携しながら「大人のための読み聞かせ」や「まちなかライブラリー」、「高齢者図書お届けサービス」など各種事業に取り組み、市民に読書の楽しさを広げてまいります。

令和2年度の学力向上に向けた取り組み

(1) 「新しい学習指導要領の考え方」

令和2年度より小学校から新学習指導要領がスタートします。新しい学習指導要領の考える新しい時代に必要となる資質・能力とは、生きて働くための「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養です。

そのために、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる「主体的な学び」、個人で考えたことを、意見交換したり、議論したりすることで、新たな考え方に気が付く「対話的な学び」、習得・活用・探求という学びの過程の中で、「見方・考え方」を働かせながら、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたりする「深い学び」の実現が必要になります。

新しい学習指導要領の考え方

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

新しい時代に必要となる資質・能力

学びに向かう力、
人間性等

知識・技能

思考力・判断力・
表現力

根室の教育は大きく変わります

(2) 「聞く力」の育成

一昨年より学力向上プロジェクトでは学力向上の先進地である石川県の羽咋市の視察訪問を行い、「主体的で、対話的な深い学び」の実践を研修してきました。昨年度は、羽咋市の小学校より講師を招聘し、成央小学校の6年1組で模範授業を公開し市内の先生方が70名参加し研修を行いました。初めての先生の授業でも、興味を引くような教材を事前に準備して子どもたちが主体的に授業に参加していました。



視察先：石川県羽咋市羽咋小学校

安心感



聞き手が作り出す話しやすい雰囲気

対話の深まりへ

羽咋市の小中学校を訪問して、ICT 機器を使用した「主体的で、対話的な深い学び」の授業実践の視察研修を実施しました。羽咋市では、授業のみならず、学校生活のすべてにおいてアクティブワードを市内の小中学校で徹底し小学校の低学年からコミュニケーション能力の育成を育んでいました。

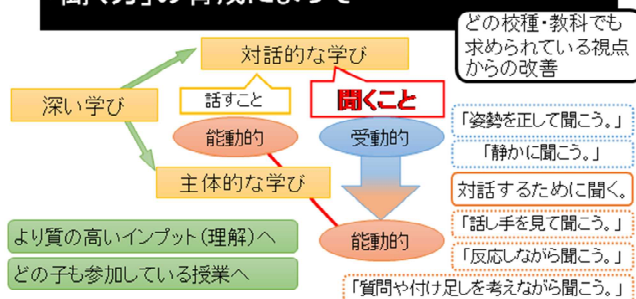
「聞き手が作り出す話しやすい雰囲気」作

りから誰しもが安心して発表しあう環境ができており、授業における「対話的な学び」が深まっていました。

学力向上プロジェクトでは、招聘事業と視察研修を通して「主体的、対話的な深い学び」を実践するためには、9 カ年を見通した「聞く力」の育成による「学び」の変革が必要であるということになりました。

本年度より、学校ごとに右図のような子どもたちが「主体的に」学びに向かい、「対話型の学び」を深めるための「聞く力」を育む授業づくりが始まります。

「聞く力」の育成によって…



(3) 個に応じたきめ細かな指導体制

根室市では、国や北海道における各種支援事業の教員の加配、根室市独自の学力向上補助教員を積極的に活用して、個に応じたきめ細かな多学習指導（※習熟度別指導、チーム・ティーチング）を進めてまいります。

本年度より新たに放課後教室・児童館等指導員による小学校低学年の授業補助がスタートしました。

※クラスを習熟別に分けて興味関心等に応じた学習

を進めるのが習熟度別指導で、授業を進める先生と個別の指導を行う先生の2人で行う学習指導をチーム・ティーチングといいます。

チーム・ティーチング



ICT 機器を活用して生き生き授業

(4) 大型提示装置（大型モニター、実物投影機）の活用

根室市では、本年度より大型提示装置（大型モニター）、教員用と児童生徒一人一台のタブレット端末、実物投影機等を使用したインターネットやデジタル教材の画像や動画を活用した、より分かりやすい授業を進められるようになります。児童・生徒の興味・関心を高めて学習意欲を向上させ、知識・理解の定着を図ります。

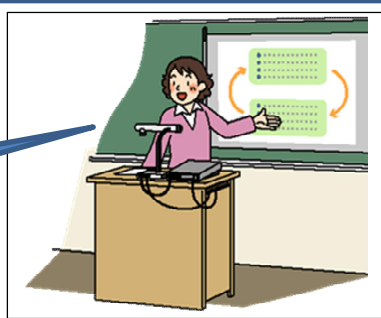
大型 TV モニターの活用



大型モニターに画像や動画等の提示

手元の様子を拡大して提示

実物投影機の活用



(5) 国の GIGA スクール構想による 1 人 1 台のタブレット PC の整備と活用

児童・生徒のノートや資料を、実物投影機やタブレット端末を用いて大型モニターに投影するという発表方法や話し合い、協働での作業、発表などの双方向のやり取りを通して、児童・生徒の発表の機会が増加し、考える力、表現する力を向上させることができます。

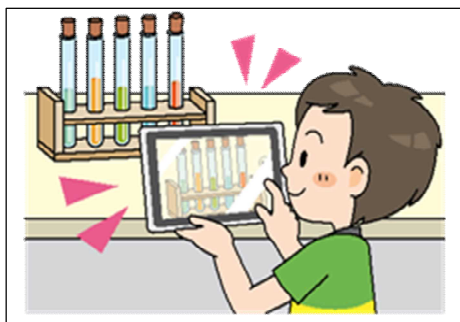
大型 TV モニターに投影



ビデオ映像の活用



写真撮影の活用



協働での話し合いに活用



(6) 遠隔授業とオンライン授業

ICTの強みの一つとして、距離にかかわらず相互に情報の発信・受信のやり取りができる（双方向性を有する）ことがあげられ、この強みをうまく生かした遠隔教育では、学校同士をつないだ合同授業の実施や外部人材の活用、幅広い科目開設など、教師の指導や子供たちの学習の幅を広げることができます。小規模校と近隣の学校をつなぎ、合同で授業を行うことで、多様な意見や考えに触れたり社会性を養ったりする機会が増加する



などの効果を挙げることができます。新型コロナウイルス感染症の蔓延による臨時休業期間に学校と家庭間でのオンライン授業が可能になります。

特別支援教育が変わります

(7) 特別支援教育の充実と推進

個々の児童・生徒の特性や障害にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育を進め、ニーズに応じた個別の支援により学力の向上と今後の共生社会を生きる子どもたちの育成を図ってまいります。

① 接続カリキュラムの充実

新入学児童の小学校生活の円滑なスタートを図るために接続カリキュラムの充実、「子育てファイル”りんくす・ねむろ”」の活用による幼稚園・保育所と小学校の効果的な引継ぎを進めてまいります。



また、幼・保・小・中それぞれの段階においても、「いままで」の学習内容をしっかりと定着させ、「これから」の学習内容を着実に積み上げていくことができるように個々の子どもたちが必要とする支援に努めていきます。

② 通級指導教室が新しく設置されました

特別な支援を要する児童・生徒の学習活動を支援するために、本年度より成央小学校に通級指導教室が設置されました。

令和2年4月
根室市の特別支援教育が変わります

通常学級

- 「特別支援学級」と「普通学級」で学ぶ児童
- 「特別支援学級」で学ぶ児童
- 「特別支援学級」で学ぶ児童

特別支援学級

- 「特別支援学級」で学ぶ児童
- 「特別支援学級」で学ぶ児童
- 「特別支援学級」で学ぶ児童

通級指導教室

花咲小学校以外にも開設します

通常の学級に在籍しながら、その子にとって必要な支援に当たって特別指導を受けるための教室。

令和2年4月開設
根室市立成央小学校

令和3年4月開設予定
根室市立北斗小学校

【問い合わせ先】 根室市教育委員会
〒087-6711
根室市南陽町2丁目27番地 ☎ 代表 0153-23-

③特別支援教育支援員（学習支援員・介助員）の拡充に努めます

学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への教育的対応が求められていますが、教師だけでは十分な支援が困難な場合が多くあります。教員の円滑な授業をサポートしたり、早期支援を必要とする児童生徒に対し学習活動上のサポートを行ったりする特別支援員や介助業務員の拡充に努めます。



家庭・保護者・地域との連携

（１）「生活リズムチェックシート」の活用

「生活リズムチェックシート」の活用などにより、家庭と学校が連携して基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を図ります。

また、ゲーム機やスマートフォン利用等の子どもたちがトラブルの被害者や加害者にならないよう、ネット利用に関する家庭のルールづくりや「スイッチオフ２２」も促進してまいります。



フィルタリングを必ず利用しましょう！

不適切なアプリやWebサイトの制限・利用時間の設定など、必ずフィルタリングをして、子供の成長に合わせた安全なスマホ利用ルールを作りましょう。

☆Webサイトの制限のイメージ

小学生モード	中学生モード	高校生モード
・ゲーム、動画、音楽など	・SNS、掲示板など	・SNS、掲示板など
・写真、アルバムなど	・写真、アルバムなど	・写真、アルバムなど
・アプリ、出会いなど	・アプリ、出会いなど	・アプリ、出会いなど

高校生プラスモード

※SNS利用のルールやマナーを理解した人向け（制限対象外）

・アプリ、出会いなど

フィルタリングを設定しても、親子の連絡用アプリなど必要なものをダウンロードすることができ、その他の危険なサイトやアプリを制限することが出来ます

フィルタリングサービスの利用について知りたい方、または携帯電話に関するトラブルなどでお困りの方は下記までご相談ください。

ご 相 談 内 容	ご 相 談 窓 口	受付 時 間
フィルタリングサービスの利用方法・設定に関するお問い合わせ（無料）	NTTドコモ ドコモインフォメーションセンター ・ドコモ電話から専用なしの「151」 ・携帯電話から「0120-800-000」	9:00～20:00 （年中無休）
	KDDI ・お客さまセンター ・お客さま専用電話から専用なしの「157」 ・お客さま専用電話から専用なしの「157」 ・携帯電話から「0800-919-0157」	
	Soft Bank ソフトバンクお客さまセンター ・ソフトバンク携帯電話から専用なしの「157」 ・携帯電話から「0800-919-0157」	
サービスに関するご相談 事件に巻き込まれた、 具体的な被害にあった場合	被害者支援生活安全室 24-01110（市外）	月～金曜日 8:45～17:30 受付・相談に際する ご相談は24時間対応
ネット詐欺・架空請求など に関するご相談	被害者支援生活安全室 24-9065（市外）	月～金曜日 9:00～17:00

根室市青少年相談室 TEL 23-2898（市外） 月～金 9:00～17:00
根室市青少年健全育成市民会議・根室市教育委員会

根室市小・中・義務教育学校・高等学校・幼稚園一覧

※生徒数、学級数、教員数の上段は特別支援学級で外数。教員数には校長、教頭を含むが講師は除く。

★北斗小学校の沿革

※数値等は、全て令和2年5月1日現在

- 明治35年9月21日花咲小学校より男子105名、根室女子校より119名を移し、北斗小学校として開設、平成14年100周年記念事業を挙行了した。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
北斗小学校	北斗町3-5	24-9665		永谷 隆夫	高橋 健司	41	8	10				10
		24-2171				275	12	19	1	1	1	22

★花咲小学校の沿革

- 明治9年12月14日、花咲学校として開校。道内では3番目に古い歴史のある学校。
また、ロシア人として日本に初めて渡来したラクスマンが停泊した弁天島が目前に眺められる。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
花咲小学校	栄 町1-1	24-9684		上原 哲朗	角田 俊幸	6	4	5			5	
		24-3156				154	6	14	1	1	16	

★花咲港小学校の沿革

- 明治29年3月5日花咲村児童教育所として開校。昭和63年に校舎新築落成、開校93周年の式典を挙行。平成9年、開校百周年記念式典を挙行。本年開校124年目を迎える。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
花咲港小学校	花咲港209	25-3362		岡部 臣也	青木 まどか							0
		25-8859				16	3	5	1	1		7

★落石小学校の沿革

- 明治25年、ボッキリイソ(現駅通前地区)に児童14名で、私設教育所として開設。昭和57年、現校舎落成。平成27年、昆布盛小学校と統合。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
落石小学校	落石東135	27-2031		新井 真人	渡辺 智	1	1	1				1
		27-2040				37	4	6	1	1		8

★厚床小学校の沿革

- 大正9年開校。戦前旧国鉄の要地として、又、馬市の隆盛で発展するも共に衰退。周辺校6校を吸収合併。平成27年度に、厚床中学校敷地内に改築移転し、小中併置校となった。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
厚床小学校	厚床1-218-1	26-2142		高橋 昭 (兼務)	小手森 良貴	4	2	2			2	
		26-2011				14	3	4	1	1	6	

★成央小学校の沿革

- 昭和43年1月23日、根室市立成央小学校として開校。本年は開校53年に当たる。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
成央小学校	光洋町1-25	24-9686		小川 一	竹村 雅裕	27	4	7			7	
		23-6325				319	12	20	1	1	1	23

★海星小学校の沿革

- 平成18年度、和田小学校、幌茂尻小学校を統合し海星小学校とし、和田中学校を海星中学校に名称変更をして、根室市で最初の小中併置校となる。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
海星小学校	西和田219	25-3930		濱田 有子 (兼務)	中川 公孝	4	2	2				2
		25-3725				28	3	4	1	1		6
小学校計	7校			5名	7名	83	21	27				27
						843	43	72	7	7	2	88

★光洋中学校の沿革

- 昭和22年5月1日、根室町立根室中学校として開校。昭和25年5月20日新校舎落成。昭和36年4月1日、生徒数1,600名を超えマンモス化の対応として校区の西部を柏陵中に分離し、光洋中学校と改称。その後も根室港地区の生徒増から昭和53年、啓雲中に分離。平成9年11月、開校50周年記念式典開催。卒業生は18,500名を超え各地で活躍している。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
光洋中学校	光洋町2-12	24-8296		藤原 秋彦	須貝 貴典	11	3	4				4
		24-3205				210	8	15	2	1	1	19

★柏陵中学校の沿革

- 昭和36年4月、根室中学校が光洋中、柏陵中に分かれ、4月6日に開校。平成2年12月に開校30周年記念式典を挙げる。平成22年に50周年を迎えた。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
柏陵中学校	敷島町1-10	24-8309		谷村 靖志	久保木 聡	7	2	3				3
		24-3265				149	6	14	1	1		16

★落石中学校の沿革

- 昭和22年5月、設置認可落石小に併置、同月22日開校式。昭和24年3月18日新校舎へ分離独立、平成元年12月15日、増改築(現在校舎)

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
落石中学校	落石東180	27-2161		今井 浩文								0
		27-2134				14	2	6				6

★厚床中学校の沿革

- 昭和22年5月1日、厚床小学校に併置(4学級)発足、昭和23年10月独立、昭和49年6月現校舎に新築移転、平成9年5月4日、開校50周年記念式典を挙げる。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
厚床中学校	厚床1-218-1	26-2142		高橋 昭	由佐 琢朗	1	1	1				1
		26-2314				14	2	6				6

★啓雲中学校の沿革

- 昭和53年、市街地人口の急増により、三階建ての現校舎が建設された。平成19年11月には、盛大に開校30周年記念式典が催された。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
啓雲中学校	駒場町2-12	24-8273		二本柳 千尋	中山 生欧	9	3	4				4
		22-2421				109	5	12	1	1		14

★海星中学校の沿革

- 平成18年度、和田小学校、幌茂尻小学校を統合し海星小学校とし、和田中学校を海星中学校に名称変更をして、根室市で最初の小中併置校となる。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
海星中学校	西和田219	25-3930		濱田 有子	辻 由子	2	1	1				1
		25-3724				20	3	9				9

中学校計	6校			6名	5名	30	10	13				13
						516	26	62	4	3	1	70

小・中学校合計	13校			11名	12名	113	31	40	0	0	0	40
						1,359	69	134	11	10	3	158

★歯舞学園の沿革

- 半島地区の4小学校(華岬小、共和小、瑛瑤瑠小、温根元小)が歯舞中学校敷地へ新築統合し、平成25年4月より市内で2番目の併置校となる。
令和2年4月より歯舞小学校と歯舞中学校における小中一貫教育の更なる推進を図るため、市内で初となる義務教育学校を導入した。

学 校 名	住 所	電話	校長室	校長名	教頭名	児童生徒数	学級数	教 職 員 数				
			職員室					教員	養護	事務	栄養	合計
歯舞学園	歯舞3-178	28-2778	西田 威嗣	中村 哲之	7	3	4				4	
					81	6	8	1	1		10	
		28-2019		沼田 健二	8	3	4				4	
					48	3	11	1	1		13	

小・中学校、 義務教育学校 合計	14校			12名	14名	128	37	48	0	0	0	48
						1,488	78	153	13	12	3	181

★北海道根室高等学校の沿革

- 明治39年4月に北海道庁立根室実業学校として開校、道立高校では、9番目に古い歴史と伝統のある学校。平成29年4月1日 統合・単位制導入

高等学校(道立)					令和2年5月1日現在						
学 校 名	住 所	電 話	校長名	課 程	学 科 別 学 級 数				生徒数	教員数	職員数
					普通	商業	事務情報	計			
北海道 根室高等学校	牧の内146	24-4675	目谷 信靖	全日制	9	3	3	15	494	50	9

★根室カトリック幼稚園の沿革

- 昭和37年12月6日宗教法人として認可を受け、昭和55年4月1日学校法人となる。
平成27年12月16日「認定こども園」として認可を受ける。

園 名(私立)	住 所	電 話	園長名	学級数	園児数	職員数
学校法人釧路カトリック学園 認定こども園 根室カトリック幼稚園	大正町2-21	23-5075	齋藤 久恵	4	99	23

★根室つくし幼稚園の沿革

- 昭和45年7月1日、根室つくし幼稚園として開園。

園 名(私立)	住 所	電 話	園長名	学級数	園児数	職員数
学校法人三浦学園 根室つくし幼稚園	有磯町1-1	24-3938	佐藤 正喜	6	98	15

★睦の園幼稚園の沿革

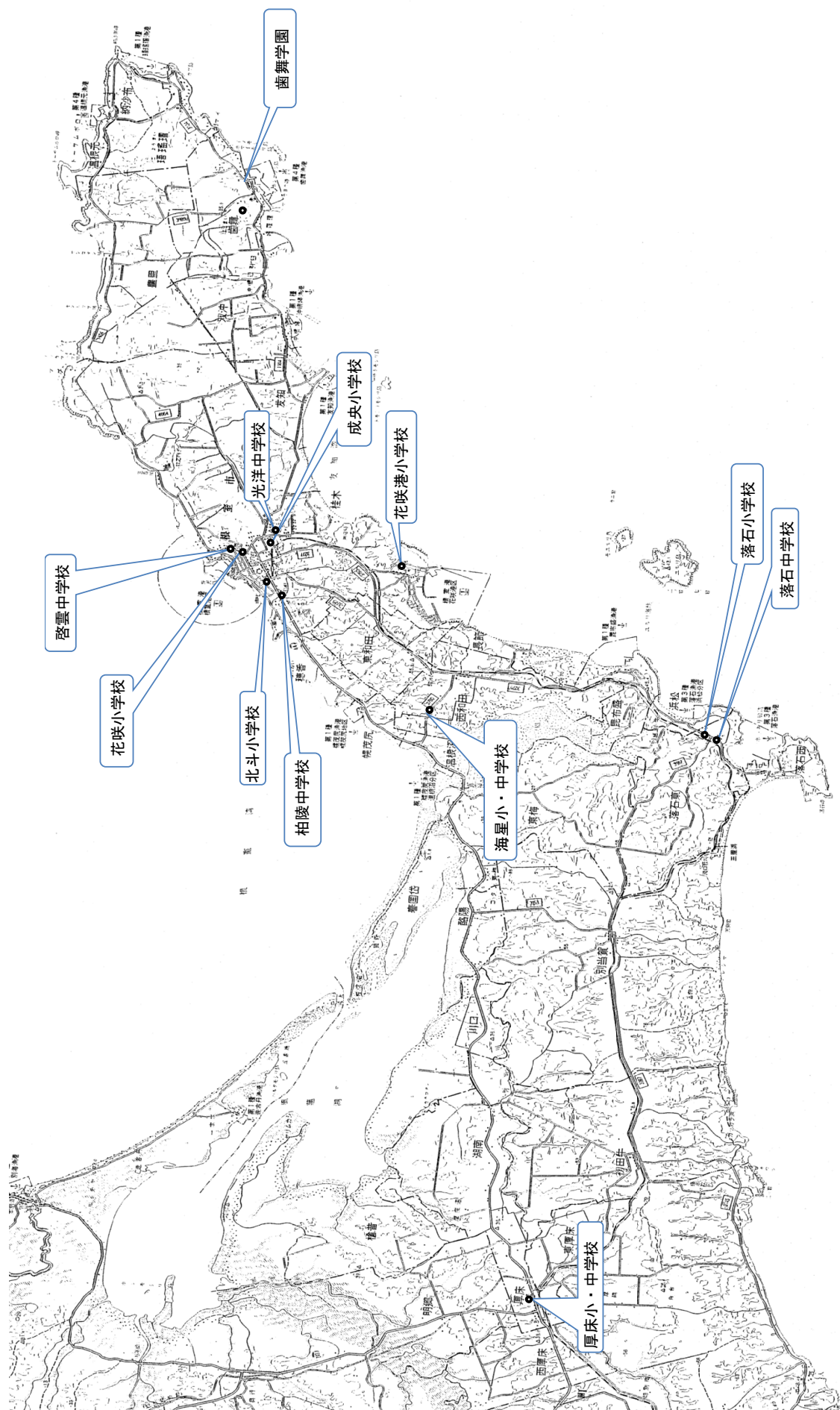
- (1)大正13年1月、緑町の根室教会附属として創立、昭和46年現在地新築、学法化。
- (2)昭和59年堀内学園になり、令和2年3月に園舎を新築。4月1日から幼保連携型認定こども園として開園する。

園 名(私立)	住 所	電 話	園長名	学級数	園児数	職員数
学校法人堀内学園 幼保連携型認定こども園 睦の園幼稚園	明治町2-13	23-2027	平賀 ひさ子	6	77	24



根室市中小學校所在地一覽

令和2年5月1日現在



根室市の教育費

1. 教 育 費

(1) 令和2年度 教育予算

教育費 1,130,948 千円（一般会計構成比 5.9%）

■ 年度別教育費

（単位：千円）

年 度	経 常 費	臨 時 費	計	一般会計 構成費（%）
21	761,964	143,188	905,152	6.2
22	807,845	167,891	975,736	6.3
23	755,750	130,504	886,254	5.5
24	781,851	865,277	1,647,128	10.0
25	776,012	207,030	983,042	5.9
26	792,243	797,312	1,589,555	9.6
27	800,686	239,847	1,040,533	6.1
28	768,131	361,521	1,129,652	7.0
29	759,278	380,336	1,139,614	6.8
30	774,635	223,387	998,022	5.8
元	813,870	355,505	1,169,375	6.6
2	792,468	338,480	1,130,948	5.9

■ 令和2年度 教育委員会の主な予算 ■

- | | | | |
|---|------------------------|----|----------|
| 1 | 花咲放課後教室整備事業 | 新規 | 21,692千円 |
| | 建設に係る実施設計を行います。 | | |
| 2 | 花咲小学校移転改修事業 | 新規 | 20,000千円 |
| | 啓雲中学校への移転に伴う実施設計を行います。 | | |
| 3 | 小学校教育環境整備事業（安全対策） | 新規 | 7,025千円 |
| | 中学校教育環境整備事業（安全対策） | 新規 | 3,378千円 |
| | 児童・生徒の教育環境を整備します。 | | |

4	学校統合推進事業	新規	2,521千円
	中学校統合に向けた統合校交流を行います。		
5	東京オリンピック2020聖火リレー事業	新規	1,315千円
	オリンピック聖火セレモニーを行います。		
6	通級指導教室開設事業	新規	1,000千円
	成央小学校通級指導教室を開設します。		
7	総合文化会館整備事業	継続	60,093千円
	冷温水発生機及び大小ホール舞台吊物機構などを改修します。		
8	北方資料研究活用推進事業	継続	9,430千円
	北方資料展示（アイヌ関係）レイアウト改修を行います。		
9	子どもブックライフ応援事業	拡充	1,703千円
	ブックライフ事業の拡充（マタニティブック）を開始します。		

■ 令和2年度 教育委員会の主な予算（繰越分） ■

1	中学校校舎等大規模改造事業	234,254千円
	光洋中・啓雲中の統合及び柏陵中の移転に伴う整備・改修をします。	
2	義務教育学校開校事業	28,615千円
	齒舞学園開校に伴う職員室・生徒玄関等を改修します。	
3	I C T教育環境整備事業（小学校）	41,195千円
	児童用タブレット、教員用タブレット等の整備をします。	
4	I C T教育環境整備事業（中学校）	34,398千円
	生徒用タブレット、教員用タブレット等の整備をします。	

学校教育

1. 児童生徒数の推移

●児童・生徒数は学校基本調査数値 ●人口は各年5月末住民台帳人口

(単位：人)

区分 \ 年度	小学校	中学校	合 計	人 口
21	1,580	880	2,460	30,201
22	1,498	841	2,339	29,785
23	1,478	829	2,307	29,319
24	1,470	759	2,229	28,907
25	1,402	743	2,145	28,709
26	1,334	721	2,055	28,271
27	1,305	724	2,029	27,815
28	1,252	667	1,919	27,272
29	1,163	620	1,783	26,676
30	1,110	619	1,729	26,123
元	1,051	616	1,667	25,653
2	1,014	602	1,616	25,156

2. 就学の助成

1. 奨学資金・入学準備金制度

(1) 貸付条件

奨学資金の貸付を受ける者は、本市住民であって次の条件を具備する者でなければならない。

- ・高等学校、大学、高等専門学校又は、これらに相当する学校に在学すること。
- ・学資金の支弁が困難と認められること。
- ・学業優秀、品行方正および身体強健であること。

(2) 令和元年度貸付額（年額）

(3) 奨学資金貸付状況（実績）

(単位：千円)

	奨学資金	入学準備金
大学	240,000	200,000
短大		100,000
専門		
高専	108,000	50,000
高校		

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
入 学 準備金	0 件	2 件	1 件	1 件	3 件
	0	250	300	50	350
奨学資金 (新 規)	1 件	3 件	3 件	2 件	3 件
	108	588	588	348	588
奨学資金 (継 続)	4 件	2 件	2 件	5 件	6 件
	668	348	348	1,068	1,044
合 計	7 件	7 件	7 件	8 件	12 件
	776	1,186	1,236	1,466	1,982

2. 就学援助

就学の援助は、経済的理由によって、就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、法に基づき、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、クラブ活動費、PTA会費、生徒会費、学校給食費等、その就学に必要な援助を行う。

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
認定人員（人）	291	272	241	227	234
支給額（千円）	28,031	26,080	25,743	21,603	23,664
認定者割合（％）	14.83	14.17	13.52	13.13	14.04

3. 令和元年度 中・高卒業生の進路状況

(1) 中学校卒業生

令和2年3月卒業生徒数 210人

項 目		生徒数	割合 (%)
進 学	高校（全日制）	200	95.2
	高校（定時制）	1	0.5
	高校（通信制）	5	2.4
	高等専門学校	1	0.5
	特別支援学校	3	1.4
就職等	就 職	0	0
	自 家 営 業	0	0
	そ の 他	0	0
合 計		210	100.0

(2) 高等学校卒業生

令和2年3月卒業生徒数 211人

項 目		生徒数	割合 (%)
進 学	大 学	57	27.0
	短 期 大 学	7	3.3
	専修各種学校	76	36.0
就職等	就 職	64	30.3
	無 職	0	0
そ の 他		7	3.3
合 計		211	100.0

※小数第2位を四捨五入しているため、割合の合計は合致しない。

4. 学校保健事業

事 業 名	対 象 学 年	実施機関
内 科 健 診	小・中学校全学年	各小中学校・市教委
就 学 時 内 科 健 診	就学予定児童	〃
歯 科 健 診	小・中学校全学年	〃
就 学 時 歯 科 健 診	就学予定児童	〃
尿 検 査	小・中学校全学年	〃
心 臓 健 診	小学校1年・中学校1年	〃
背 柱 側 わ ん 症 検 査	小学校5年、中学校1年	〃
眼 科 健 診	小学校2年・5年、中学校2年	〃
結 核 健 診	小・中学校全学年	〃
耳 鼻 咽 喉 科 健 診	小学校4年、中学校3年	〃

5. 不登校対策

ふれあいくらぶ「弥生」

不登校に悩む児童生徒に手をさしのべ、様々な要因を探り、その解決に立ち向かうと共に人間不信の緩和、自信の回復を図り、学校復帰に寄与することを目的とする。

●開設場所：まちなかサロン「恋問」（2階）

（根室市緑町2丁目19番地）Tel23-2859

●開設日時：毎週5回（月～金曜日）

午前の部：9：00～12：00、午後の部：12：45～14：45

（長期学校休業日、夏・冬・春休みの期間は休みとなります。）

●利用状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
小学生男子	1名	0名	0名	0名	2名
小学生女子	0名	0名	0名	1名	1名
中学生男子	1名	5名	2名	3名	3名
中学生女子	1名	2名	3名	2名	4名
合 計	3名	7名	5名	6名	10名

●令和元年度の根室市内小・中学校における不登校の状況等

	在籍児童 生徒数	不登校児童生徒数及び学年別内訳						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	1,051名	0名	1名	0名	0名	3名	2名	6名
中学校	616名	5名	15名	11名				31名

（文部科学省 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査より）

6. 学 校 給 食

学校給食施設（共同調理場）

施 設 名	開設年月	建物面積	備 考
北斗学校給食共同調理場	昭和 45 年 4 月	167.15 m ²	
成央 "	" 44 年 1 月	173.21 m ²	
光洋 "	" 48 年 1 月	308.89 m ²	

給食費の状況

区 分	年度	年間給食日数	1 食当りの単価	1 人当りの年間給食費	年間給食数
小学校	30	197 日	255 円 00 銭	49,700 円	213,663 食
	元	197 日	255 円 00 銭	49,700 円	185,908 食
中学校	30	(1・2 年生) 192 日	310 円 00 銭	58,900 円	78,152 食
		(3 年生) 187 日	310 円 00 銭	57,300 円	36,673 食
	元	(1・2 年生) 192 日	310 円 00 銭	58,900 円	71,651 食
		(3 年生) 187 日	310 円 00 銭	57,300 円	37,111 食

